

野村徳七(2代) **実業家。両替商を証券扱う企業に転換、銀行設立して野村財閥を確立後、独立した(野村証券)に。**
のむらとくしち
大久保暗殺・1878 = 大阪で、**両替店の奉公人から独立して銭両替商を営む初代野村徳七の長男に生まれる。幼名信之助。姉きくのほか、**

明治14年政変1881 = 3歳：弟実三郎が誕生。

秩父事件・・・1884 = 6歳：弟徳四郎が誕生するも夭折。
内閣発足・・・1885 = 7歳：妹たにが誕生。

国民之友始・1887 = **9歳**：弟元五郎が誕生。

帝国憲法発布1889 = 11歳：

大津事件・・・1891 = 13歳：小学校高等科3年の時、大阪市立高等商業学校予科に合格。

勉学に励むうち、

日清戦争始・1894 = 16歳：

日清戦争終・1895 = 17歳：肺炎に罹り、本科進学を諦めて中退。木崎塾に通いながら、夜間に大阪実業学館で商業簿記を学んで、

白馬会・・・1896 = **18歳**：

八幡製鉄始・1897 = 19歳：卒業。**弟実三郎とともに、家業に従事。**

子規句歌革新1898 = 20歳：入隊し、

田中正造直訴1901 = 23歳：除隊。

日清戦争後の経済界が不況に苦しむなか、

日比谷公園・1903 = 25歳：母が死去したのを機に、結婚。

日露戦争始・1904 = 26歳：***父の店の業務を両替商から有価証券現物問屋に転換させ、新店舗建設に着手、**

日露戦争終・1905 = **27歳**：

新店舗が竣工。大阪毎日経済部記者橋本喜作を採用して、調査部を発足させる。

満鉄発足・・・1906 = 28歳：***戦後の株式ブームでバブルとなった市場が急反落するのを見越して、巨利を博す。父が胃癌となり、家督相続し、徳七を襲名後、父は死去。**

韓国反日暴動1907 = 29歳：

***朝日新聞企画の世界一周旅行に参加して、欧米を漫遊し、証券事情を視察、大きな影響を受けて、帰国。大阪・東京の同業者と図って公債下引受に乗り出し、さらに社債引受の現物引受団を結成、有力な証券業者として業界をリードするに至り、**

大逆事件判決1911 = 33歳：

福島紡績の経営を引き受け、証券業以外にも進出を始めた。

明治天皇没・1912 = 34歳：

第一次大戦始1914 = **36歳**：

<第一次世界大戦>が始まると、野村商店の証券業による利益は莫大な額にのぼり、

民本主義・・・1916 = 38歳：

南洋旅行を契機に南方開発に情熱を燃やすようになり、ボルネオのゴム栽培はじめ種々の事業を起し、

ロシア革命・1917 = 39歳：

野村徳七商店を株式会社野村商店に組織変更、

本格政党内閣1918 = 40歳：

***大阪野村銀行、野村総本店を設立し、野村財閥を確立、**

第一次大戦終・1918 = 40歳：

野村家資産総額は約3千万円に達したといわれる。経営の采配を振るっていた弟実三郎が死去。

大暴落・・・1920 = 42歳：

大戦後のバブル崩壊もあって衰退し始める間、銀行内に証券部を設置。

原敬首相暗殺1921 = 43歳：

野村総本店を組織整理し、野村合名とする。

水平社結成・1922 = 44歳：

減資し、店名を大阪屋商店に改めるとともに、監督の地位を退くが、その後も、事業展開を図って、野村合名を発展させて行く。

関東大震災・1923 = **45歳**：

証券部を独立させて、野村証券株式会社を発足させ、

治安維持法・1925 = 47歳：

共産党事件・1928 = 50歳：

貴族院勅選議員に任命。

海軍軍縮条約1930 = 52歳：

満州事変・・・1931 = 53歳：

五一五事件・1932 = **54歳**：

日中戦争始・1937 = 59歳：

健保+総動員 1938 = 60歳：野村合名社長を長男義太郎に譲って、***引退し、**

日米開戦・・・1941 = **63歳**：

敗戦・・・1945 = 67歳：**没した。**